

質問日 令和7年6月23日（月）

質問順位 1 川崎 葉子 （一問一答式）

- 1 高齢者のウェルビーイング向上の取組について
 - (1) 社会参加など「生きがい」づくりの支援は
 - (2) 敬老事業について
 - ア 敬老事業の現状は
 - イ 今後の在り方について
 - (3) 高齢者が安心して暮らせる施策について
 - ア 「高齢者あんしんみまもりサービス」の利用状況は
 - イ 課題と今後の支援は
- 2 メンタルヘルス対策について
 - (1) 「こころの体温計」の実施状況と効果は
 - (2) 「心のサポーター」養成について
- 3 将来のまちづくりについて市長の見解を伺う
 - (1) 市長と語る地域懇談会の意義と実績は
 - (2) 鴻巣駅西口地域のまちづくりについて

質問順位 2 古山 大輔 （一括質問・一括答弁式）

- 1 総務行政
 - (1) 介護休暇について
 - ア 市職員の認知度と取得率について
 - イ 介護休暇に対する相談について
 - ウ 介護休暇から職場復帰する際のサポート体制について
- 2 都市建設行政
 - (1) 川面調節池の上部活用について
 - ア 上部活用の有効性について
 - (2) 空き家に侵入するアライグマの被害について
 - ア 被害状況について
 - イ 今後の対策について

3 健康福祉行政

- (1) 手話言語の国際デーブルーライトアップの実施について
 - ア 今年度の実施について

4 教育行政

- (1) 公民館の使用料について
 - ア 利益を求めないこども食堂が公民館を使用する際の料金について

質問順位 3 茂利 博之 (一問一答式)

1 教育行政

- (1) 開かれた学校と安全管理の整合性について
 - ア 小中学校の防犯対策は
 - (ア) 防犯グッズは
 - (イ) 防犯対策は
 - イ 教職員の対応は
 - ウ 防犯対策に伴う今後の学校の在り方は
- (2) 子供たちの安全と地域の関わりについて
 - ア 地域の見守りは
 - イ 専門家の採用は
- (3) 学校における保護者からの相談対応について
 - ア 本市の対応策は
- (4) 子どもたちを取り巻く環境の中での心のケアについて
 - ア 学校の対応は

2 危機管理行政

- (1) ハザードマップの必要性について
 - ア 耳で聴くハザードマップは
- (2) 防災対策について
 - ア 吹上地域の防災対策は

3 健康福祉行政

- (1) 子宮頸がん撲滅に向けた取組について
 - ア 予防接種の接種率は
 - イ 予防接種の周知方法は
 - ウ 予防接種の周知費用は
- (2) 男性へのHPVワクチン接種の考えについて
 - ア 接種費用の助成は

質問順位 4 金子 雄一 (一括質問・一括答弁式)

1 市長政策行政

(1) 「誰もが参加できる社会を」のテーマで行われた地域づくり構想について

- ア 対談の意義・成果
- イ 行政の役割、責任は
- ウ 鴻巣から全国へ発信する地域づくりのモデルとしての具体的内容
- エ 今後の取り組むべき政策は

(2) SDG s のさらなる推進について

- ア 「SDG s 未来都市」に選定されてから現在に至るまでの動き
- イ 地方創生SDG s フェス出展の成果
- ウ 具体的な取組は

2 教育行政

(1) 小・中学校教育における水泳事業について

- ア 現状認識
- イ 近隣市町の動向
- ウ 令和7年度以降における方針
- エ これからの検討事項は

3 市民生活行政

(1) 防犯体制等の強化対策について

- ア 現在の状況
- イ 各種の防犯対策の具体的内容
- ウ 今後の対応策は

質問順位 5 潮田 幸子 (一問一答式)

1 国の交付金の効果的活用について

(1) 主な交付金の申請・採択率と現状の課題

(2) 「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の今年度申請について

(3) 「重点支援地方交付金（5月27日閣議決定）」活用の考え

- ア 活用事業決定までのプロセス及びスケジュール
- イ より多くの市民のニーズに対応する「お米券配布」事業等への活用は可能か

2 SDG s の観点から、民間力活用によるひとり親家庭等への支援について

(1) コスメバンクプロジェクトを導入することについて（SDG s 目標1. 3.

5. 8. 11. 12. 13. 17)

ア 子ども食堂等で行われているひとり親家庭等への現在の支援

イ 災害時の女性支援物資の状況

ウ コスメバンクプロジェクトとの連携による余剰在庫のコスメセット配布事業導入は可能か

3 介護保険要介護認定事務のD X化について

(1) デジタル端末の導入や支援システムの連携等、D Xによる要介護認定事務の効率化について

ア 本市の要介護認定に関する相談から認定までの流れ、要する時間、人的配置、調査員の残業状況等現状と課題

イ より早く介護認定するために、改善すべき点は何か

ウ 業務効率化を図るためのD X化の必要性についての考え

エ 新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）活用の可能性